

令和2年度第1回淡路市子ども・子育て会議（書面開催結果）

1. 開催日時

・日時：令和2年12月14日（月）から12月22日（火）

2. 意見提出用紙の提出状況

書面開催にあたり配布した意見提出用紙の提出状況は、下表のとおりでした。

提出（出席）	20名
未提出（欠席）	0名

過半数の委員から意見提出用紙の提出がありましたので、淡路市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定により、会議が成立することをご報告します。

3. 「子ども・子育て支援事業計画の令和元年度実績報告について」について

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

	意見	回答
1	教育・保育事業、その他	
1	<p>■保育所の3号認定がH30年度、R1年度ともに入所者数・実績>計画となっている。需要の方が多かったということなのでしょうか？</p> <p>■淡路市全体の3号認定受け入れ可能定員からは、あふれていないということなのでしょうか？</p> <p>地域によって需要に差があるのだとは思いますが…未満児の需要は増えてきているように感じるのですが…</p>	<p>近年、出生数の減少により3歳未満児の入所数は減少していますが、人口に対する入所数の割合は増加しており、3号認定（3歳未満児）の需要は増加していると思われます。</p> <p>制度上、部屋の面積に余裕があり、必要な保育士が確保できていれば、定員を超えて受け入れられることになっており、現在は、定員を超えても受け入れが可能な施設があるため、あふれている状況にはありません。</p> <p>今後、継続的に定員を超える状態が続けば、定員を見直すこととなります。</p>
2	<p>■平成27年度の入所者数 $\Sigma=1,285$ 人 令和元年度の入所者数 $\Sigma=1,277$ 人 となっており、全体的には人数に大差はないが、保育所内における学校へ繋げるための教育が必要な人数等も整理する必要があるのではないかと。</p>	<p>市内では、認定こども園が整備されており、教育を希望する場合は、1号認定を受けて認定こども園を利用させていただくことになっています。</p> <p>保育所で教育を希望する場合は、特別な事情がある方しか認めることがで</p>

	※資料について、もう少しわかりやすくする工夫が必要。	きないことになっていきますので、計画では、保育所で教育を希望する人数は計上しておりません。
2-① 利用者支援事業		
1	■子ども子育て世代包括支援センターの実績で基本型、母子保健型の合計となっていますが、別々に実績をあげる必要はないですか？	子ども・子育て支援事業計画上は、合算での実績で問題はありませんが、淡路市においては、基本型と母子保健型では運営主体も異なっているため、分けて実績を記載する方が現状を把握しやすいと思いますので、今後は、別に表記させていただきます。 <令和元年度実績> ・母子保健型：897件 ・基本型：917件
2	■【進捗状況等】の所で、おむすびの場所の標記を、「イオン津名店内」から「イオン淡路店内」に変更をお願いします。	ご意見ありがとうございます。修正いたします。
2-② 地域子育て支援拠点事業		
1	■利用数減少は、センター開設中止、それ以降続いている受け入れ人数制限、調理実習を含む様々な行事の縮小によるものだと思います。ただ、日々の利用希望親子は常に制限ぎりぎりまで来館されている状況で、孤立させない場が必要だと感じています。	今後も新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を行いながら、子育て親子の居場所となるよう、運営を行っていきたいと思います。
2	■利用内容を知りたい。 ファミリー・サポート・センター事業とかなり事業内容が重複している感じがする。	地域子育て支援拠点事業については、旧町単位にある「子育て学習センター」において、主に就学前の乳幼児のいる、子育て中の親子を対象に、交流の場の提供や、イベントの実施、育児相談等を実施しています。 一方、ファミリー・サポート・センター事業は、塾等の送迎や、子どもの一時的な預かりなど「子育ての応援をしてほしい人」と「応援をしたい人」

		が依頼会員・提供会員に登録し、地域の中で育児の援助活動を行う事業です。
2-④ 子育て援助活動支援事業		
1	■ファミリー・サポート・センター事業の実績が0なのは利用価値がないのか？コマーシャル不足なのか？	ファミリー・サポート・センター事業については、市の事業としては行っていないため、実績が0となっています。 淡路市では、淡路市社会福祉協議会が独自で事業を実施しています。
2-⑥ 病後児保育事業		
1	■利用者の地域別割合が知りたいです。津名地区からでは、送迎に小1時間かかり、利用を躊躇するのでは、と個人的に感じます。	R1年度の実績では、岩屋地区の方が11件（69%）、東浦地区の方が5件（31%）となっています。 ご意見にもあるように地理的なこともあってか、他の地域の方の利用はありませんでした。
2	■進捗状況についてですが、もしも決まっていたら、あるいは方向性がありましたら、「広報等を行います」など、具体的な方針を示されてみてはと思いました。	具体的な表現に改めます。
3	■利用内容、利便性、どこで知ったのか？	利用内容については、病気の回復期にあり、集団での生活が困難な場合に利用ができ、事前登録と医師の診断を受け『医師連絡票』を記入してもらい、利用予約を取っていただく流れとなります。詳しいことは、市と聖隷こども園夢舞台のホームページで案内を行い、聖隷こども園夢舞台がパンフレットを作成し配布も行っています。 利便性については、実施施設が淡路市北部にあるため、南部の方にとっては、利便性が良いとは言えないかもしれません。

		どこで知られたかですが、医療機関や各保育所等で掲示されているポスターやパンフレットを見て利用されているようです。
2 - ⑦放課後児童健全育成事業		
1	■低学年の学童利用が計画と実績の差が大きく、施設拡充や指導員の補充など早めの検討が必要ではないかと思いません。	ここ数年、低学年の利用率が高い傾向にありますので、状況を見極めながら、施設の拡充及び指導員の補充を計画的に行ってまいります。

4. 「幼保連携型認定こども園恵泉保育園の利用定員の変更について」について

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

	意見	回答
1	■定員を満たすことができなかったのは、以前から続いていたことなのか？恵泉保育園への入園希望者が減っていたようには感じなかったもので、確認をしたくて質問させていただきます。	H28 年度から定員を少し割る状態で、R1 年度から定員を大きく下回るようになっていきます。
2	■0 歳児の受け入れが無いのですね。以前はあったように思うのですが。	R1 年度まで0 歳児の受け入れがありましたが、R2 年度では受け入れがありません。
3	■過去の計画、実績を検討しての数値だと思うが、3号、2号で減少しているのは、保育士確保等が困難であることも原因ではないのかと少し気になります。また、民間なのでジャストインタイム運営システムを目標としており、行政インフラがついて行けないところが多い。	定員を減らす理由として、保育士の不足がありました。 制度上、国の示した職員配置の基準を満たす必要があることと、給付費も利用定員によって変わってくるのが理由として考えられます。

5. 「ちびっこランドちどりの移転について」について

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

	意見	回答
1	<p>■延床面積もかなり広がり、園庭もあり、自園調理され素敵だと思います。利用する子どもたちが広々と遊べ、良かったと思います。</p> <p>定員数が12名というのは、広さ的には利用定員が増やせるような環境なのかなと感じたのですが、どうなのでしょう？</p>	<p>部屋の面積的には、最大19名まで定員を増やせますが、そのためには、保育士の増員が必要となってきます。</p> <p>現在の保育士数から、定員は12名となっています。</p>
2	<p>■給食が自園で行われるようになったことで、温かい給食が提供されたり、時間にも余裕がうまれると思うので、良かったと思います。</p>	<p>自園調理となり、給食の提供に関して環境の充実が図られ、良かったと思います。</p>
3	<p>■2016年働き方改革関連法成立後、職場近傍に保育施設が出来ることは、望ましいことです。また、当初は9人であったが、移転後は12人の3歳未満児の対応をしてもらえるのは、淡路市にとってもありがたいことです。</p>	<p>3歳未満児の入所希望が多いので、市としても良かったと思います。</p>

6. 「学童保育一宮の移転について」について

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

	意見	回答
1	<p>■一宮小学校の児童さんにとって近くに学童があるのは良かったのではないかと思います。多賀小学校の子ども達はどうやって学童を利用されているのでしょうか。</p>	<p>多賀小学校の児童は授業終了後、教育委員会で借上げたタクシーを利用して通所しています。</p>

2	<p>■学校内への移転ということで保護者から交通安全の心配が減った、今まで外で遊ぶことができなかったが、校庭でのびのび走れ、運動ができそうだ、との声が聞かれました。</p>	<p>今後とも児童の安全を優先して、事業執行できるよう努めてまいります。</p>
3	<p>■空き教室を改修して使用できることは、子供&保護者にとっては、有益であると思われます。今日少子化時代では、空き教室は必然とあると思われるのに、使用できない小学校が散見されます。使用できないエビデンスをしっかりとつかんでおく必要がある。</p>	<p>担当課としましても、小学校の空き教室を利用することが一番であると考えておりますので、学校側との連携等を密にし、学校内への移転を推進してまいります。</p>

7. 「その他」について

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

	意見	回答
1	<p>子育てハンドブック 毎年バージョンアップしていて見やすくなっていますね。</p> <p>■施設一覧のところに病院・歯科・薬局とありますが、子育てハンドブックなので、小児科および小児歯科のある医院・歯科医院は、一目みてわかる方が、保護者の方にとって使いやすいのでは、と実際に子育てをされている方から希望が出ました。</p> <p>■病後児保育の項目は「子どもを預けたいときは」の項目の方がよいのでは。（今後広報等を行う際においても周知をどうしていくか検討資料として）</p>	<p>ご意見ありがとうございます。次回ハンドブックを作成する際の参考にさせていただきます。</p>
2	<p>■子育てハンドブック p. 57 拡大図B 「学習保育浦」と記載されている。正しくは「学童保育浦」。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。次回ハンドブックを作成する際に修正いたします。</p>

3	<p>■子育てハンドブック p.20 休日小児救急の電話番号に市外局番 0799 を入れては？島外から移住した家族には分かりにくい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。次回ハンドブックを作成する際に追記いたします。</p>
4	<p>■子育てハンドブックはいろいろな情報がぎゅっと詰まっているので、より活用してもらえようになればいいな、と思います。</p> <p>乳幼児健診などで渡すだけでなく、市内マップの拡大版を掲示したりなどアピールしてはどうでしょうか。</p> <p>検診などのときは渡される物が多く、全てに目を通すのは難しいので…。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ハンドブックのデータについては、母子手帳アプリや市ホームページでもPDF 形式にて掲載をさせていただいていますが、市内マップについても、学習センター等での掲示など、検討させていただきます。</p>
5	<p>■書面会議でも内容もよく分かりました。しかし他の方の意見を聞く機会がないので、会議形式での開催が次回はできれば良いなと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況等をみながら、会長と相談させていただきます。</p>
6	<p>■お疲れ様です。特に異論は無いです。委員メンバーも良く知った方が多いので、言葉を交わせる日を楽しみにしています。パソナも入ってきますし、定員問題、保育士不足の問題、解決すると良いですね。</p> <p>課題に上がっていない事でも、現在の淡路市の子育てについて語れると良いと思います。</p>	
7	<p>■子育てハンドブックの追加内容（市内病院・医院）知りたい事項でした。</p> <p>■淡路市は全国でも小中学生の ipad の普及率が勝っています。コロナウイルスで休校が続きました。オンラインで授業もされた事があったと聞いたり…!?これを利用して、今後伝染性の病気で長期休まざるを得ない児童に回復期にオンライン授業をしてほしい。</p> <p>不登校の児童も家で授業を受けること</p>	<p>■オンライン授業について</p> <p>タブレット端末を家庭へ持ち帰っての活用については、すでに必要に応じて実施しているところです。オンラインでの学習を実施するにあたっては、Wi-Fi による通信環境が必要となりますので、長期欠席児童生徒と学校とをオンラインで結ぶにあたってWi-Fi 環境の無い家庭については、機器等を貸与できるよう検討しているところです。長期欠席児童</p>

	<p>ができるように検討してほしい。 様々な問題意見があると思いますが、是非前向きに、よろしく願いいたします。</p> <p>■ 市政報告会で市長さんをお願いいたしましたが、聖隷淡路病院の一日も早い産科開業をお願いしたい。</p> <p>■ 国の政策が海外に遅れている性教育。未婚の母がまあるくにもいらして見守りました。せめて淡路市だけでも中学生にきちんとした性教育の機会を与えてほしい。(それをしてくれる助産師さんを知っています。)</p>	<p>生徒の状況は、その理由も含め様々でありますので、それぞれの実態に応じて適切に実施できればと考えています。</p> <p>■ 産科開業について 市と聖隷淡路病院が連携して産科医等の確保に向けて努力しているところですが、引き続き産科再開に向けて努力します。</p> <p>■ 性教育について 中学校保健体育において「生殖機能の発達」「性とどう向き合うか」「性感染症とその予防」といった性教育に関わる内容について学んでいるところではありますが、学校内部だけでの学習ではなく、地域人材や専門家を活用しての学習についても必要に応じて進めていくようにしてまいります。</p>
8	<p>■ 作成時点では金科玉条であっても、その無謬性に固執すると失敗することがある。今日ダイバーシティを受け入れて、インテリジェンス機能により今風にレジリエンスの体制が必要とされる。</p> <p>※『社会情勢の変化』から『ダイバーシティ』への変遷</p>	<p>子育て支援施策について、既存の概念にとらわれず、市民の皆さまのご意見や、市の情勢に合わせた柔軟な対応ができるよう、今後も検討をしてまいります。</p>